

令和 5 (2023) 年度事業報告書

全 般

令和 5 年 5 月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ 5 類に移行し、感染予防は個人の主体的対応となった。このため三笠独自の新型コロナ感染症拡大防止対策ガイドラインは廃止し、感染症防止の基本的対策としての手指消毒、換気の体制を維持することとした。

社会生活上の行動制限も無くなり、各種行事も概ね制限なく開催して観覧者数は 192,086 人 (昨年比 117%)、売店売上額は 47,641 千円 (昨年比 117%) と回復傾向にあるものの、いずれもコロナ禍前の 8 割程度にとどまっている。

また、「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」で定められた PCB 使用廃絶のため、4 年計画の外板等の再塗装工事が開始された。

1 艦の修理整備

(1) 官 (海上自衛隊) による修理工事

ア 記念艦「三笠」の維持整備の新たな体制

今後三笠は PCB 対策、老朽化対策等大工事が予想され、官の人員増も期待できないことから官民協働体制をとることとなった。このため、三笠の整備計画の作成、技術資料、整備実績の整理等を行う業者について入札が行われ、株式会社艦船技術サービスが落札した。

イ 電気の部

- ・ 火災受信機の更新
- ・ 漏電対策高圧受電設備定期点検
- ・ 艦内蛍光灯の LED 化

ウ 船体の部

- ・ 木甲板新替 (艦首部・右舷スタンション等の新替)
- ・ PCB 含有塗膜の剥離 (煙突、通風筒、ビデオ室壁面及び外舷 (右舷、左舷: 出入り口から艦尾)、短艇甲板上部床 (右舷))
- ・ エアコンの更新 (長官公室、長官室、第 1 ビデオ室 2 台)
- ・ 舷門デッキ補修

(2) 保存会による整備

- ・ 消防設備点検
- ・ Z 旗用揚旗線の修理 (業者委託)
- ・ 甲板工事に伴う警備センサーの移設及び復旧 (業者委託)
- ・ 中甲板清掃 (業者委託) (2 回)
- ・ ライトアップ用照明交換 (6 台) (業者依頼)
- ・ 売店水道補修 (業者依頼)
- ・ 男子トイレ手洗い水栓補修 (業者委託)
- ・ 木甲板等の補修 (元整備係長への委託)

(3) 海上自衛隊による奉仕整備等

- ・ 海上自衛隊第2術科学校学生による除草、塗装等の奉仕作業、(14回、延べ299名)
- ・ 海上自衛隊横須賀地方総監部上曹会及びその家族並びに米海軍 CP0 (上甲板真水流し清掃、艦周辺の除草) 3回 (海上自衛隊約150名、米海軍約220名)

2 展観態勢

(1) 資料の整備等

なし

(2) 収蔵資料の現況

区分 種類	三笠保存会 (所蔵品)	海上自衛隊 (無償借受)	個人 (寄託)	5年度 受入 (所蔵品)	合 計
勲章	52	0	12	0	64
武器	64	0	3	0	67
絵画	82	5	8	0	95
印刷	160	11	2	0	173
書	189	52	40	2	283
被服	86	0	9	0	95
写真	308	195	9	0	512
証紙	112	0	5	0	117
旗布	15	0	3	0	18
工作	126	21	12	1	160
陶器	19	0	4	0	23
彫刻	23	0	1	0	24
模型	24	9	37	0	70
計器	19	0	3	0	22
録音	28	0	0	0	28
図書	79	0	2	0	81
展示物品	0	8	0	0	8
合 計	1,386	301	150	3	1,840

(3) 資料の寄贈

- ア 日本海海戦時の戦艦「三笠」の「乗組人名表」
- イ 松村龍雄海軍中将 (日本海海戦時の三笠副長) の書 (掛軸) 1点
- ウ 旅順口封鎖に使用された機械水雷の鍵

(4) 資料の貸出

6年2月から7年3月予定で坂の上の雲ミュージアム (企画展 明治の最先端－近代化への道－) に日本海海戦電信誌他3点を貸出

(5) 「三笠秘蔵 連合艦隊 艦隊コレクション」

ア 日露戦争時の艦船模型(購入予定数：84 隻)のうち、3 隻(三等巡洋艦 千代田、三等巡洋艦 和泉、通報艦 龍田)(累計:34 隻)を購入

イ 「艦隊コレクション」展示紹介看板の更新

(6) 展示設備の整備

ア 三笠説明スマホガイドの整備

インバウンド用観光コンテンツとして多言語化した三笠説明アプリを三笠説明スマホガイドとして作成

イ VR ゴーグル補修 (3 台)

(7) 銃砲刀剣類の一斉検査を横須賀警察署にて受検

3 主催行事

(1) 日本海海戦 118 周年記念行事

5. 27 (土) 満艦飾とし、コロナ禍前に実施していた定例行事(呈茶、式典、演奏会、祝宴)を4年ぶりに開催した。呈茶に続いて、13 時 30 分から三笠講堂において、田中横須賀市副市長、乾横須賀地方総監、斉藤自衛艦隊司令官、メイナー第 15 駆逐隊司令はじめ内外多数のご来賓及び三笠会員の皆様の出席をいただき、式典を挙行了。密防止のため参加人数を 300 名と想定して招待者の範囲を一部制限するとともに会員は事前申込とし約 260 名が参加した。

続いて海上自衛隊横須賀音楽隊による演奏会は密防止を考慮して前甲板で開催し、一般の観覧者も加わり約 400 名が演奏を楽しまれた。その後、後甲板において祝宴を行い約 200 名の方が交流された。

(2) 夏休み企画「三笠」こどもミュージアム

7. 22 (土) から 8. 27 (日) の間、次のイベントを計画し、台風の接近により一部中止せざるをえなかったが、昨年並みの参加が得られた。

- ・ 「書き込んで完成! 三笠こどもノート」の配布(毎日)
- ・ 三笠こどもスタンプラリー(中学生以下)の実施(毎日)
- ・ 軍服着用記念撮影コーナーの開設(土日祝日)
- ・ ハンモック体験コーナーの開設(土日祝日)
- ・ みかさ工作ルームの開設(毎日)
- ・ 7. 30 (日) 海上自衛隊横須賀音楽隊による演奏会(講堂 参加者約 250 名)
- ・ 掲揚軍艦旗等プレゼント申込み受付(毎日)

(3) 「第 60 回船の模型コンクール」作品展

9. 7(木)から 9. 24(日)までの間、下甲板において開催した。横須賀市内の小学校 25 校から 448 点の出品があり、9. 6 (水) に横須賀市教育委員会指導主事による審査を行い、金賞から努力賞まで 91 名の作品を選考し 9. 16(土)午前 講堂にて表彰式を開催した。60 回の節目でもあり、努力賞の数を増加して例年より多くの子供たちに受賞の喜びを提供できた。また、優秀作品は 1 年間中甲板右舷通路に展示した。

(4) 来艦者 10、15 万人達成

令和 5 年度は順調な来艦者の増加が見られ、10 万人は昨年より約 1 ケ月半早い 9.22(金)に、15 万人は約 2 か月早い 1.5(金)到達し、節目の方には理事長より、認定証と 1 / 5 0 0 スケールの戦艦「三笠」模型等の記念品を贈呈した。

(5) 子供たちプラモデル教室

10.1(日)プロモデラー長谷川伸二氏を講師に迎え、株式会社ハセガワ協賛によりプラモデルの提供を得て上甲板後部主砲前で開催した。21 名の小学生・幼稚園児と保護者 14 名が参加した。

(6) お正月イベント

正月三が日は、「お正月は「三笠」でパワーをもらおう！」をキャッチコピーとして、軍服記念撮影の復活を含め以下の企画を実施した。2 日には降雨があり、来艦者数は昨年比約 8 割の 2,111 人となった。

- ・ パワースポット（三笠神社、三笠最上艦橋）巡り
- ・ スタンプラリー完走者による景品抽選会
- ・ 軍服記念撮影
- ・ 甘酒サービス
- ・ 掲揚軍艦旗等プレゼント申込み

(7) 第 31 回書初め大会

1.4(木)下甲板において横須賀市内の小学生 33 名の参加を得て開催した。

同日、横須賀市教育委員会指導主事による審査が行われ、金賞から努力賞までの作品を選考し、賞状と副賞を授与した。作品は 1.6(土)から 1.14(日)の間、艦内に展示した。

(8) 新春たこあげ教室

1.7(日)三笠公園を管理する よこすか seaside パートナーズとの共催で、「日本風の会」の会員の協力を得て開催し、21 名の子供たちと保護者の皆さんが参加した。

(9) 子供ラジオ教室

3.20(水)三笠下甲板において、三笠保存会、(株)横須賀リサーチパークの共催で、小中学生 10 名の参加を得て開催した。講師は三笠保存会評議員太田氏が、また YRP 進出企業からの補助者も支援にあたり、参加者は熱心に 36 式無線機と同じ原理のゲルマニウムラジオの製作に取り組んだ。

この行事は、小中学生に物づくりの楽しさや通信技術に親しむきっかけになることを期待して 2007 年からほぼ毎年開催してきたが、構成部品（ゲルマニウムダイオード等）の一般需要が激減して製造が無くなり入手が困難となったことから、今回が最終回となった。

4 協賛行事

(1) よこすかカレーフェスティバル 2023

5.20(土)、21(日)横須賀市長が会長を務めるカレーの街よこすか推進委員会が主催する同行事に協賛して観覧料を大人一般及びシニアを300円とし、子供たちを対象とした「スタンプラリー」、コロナ禍前と同様に「ハンモック体験コーナー」「軍服着用、記念写真コーナー」も実施した。

4年ぶりに参加制限なく開催され、来場者数は、二日間で47,000人(2019年比約72%)であり、三笠の有料入艦者は4,419人(同比64.4%)であった。また、スタンプラリーの参加者は800人(同比81.7%)であった。

(2) 三笠艦記念第15回スポーツひのまるキッズ関東小学生柔道大会

5.21(日)神奈川県柔道連盟等が主催し、関東を中心に、青森から沖縄までの1都1府19県から約700名の豆柔道家が集まり、横須賀市総合体育館で開催された同大会に協賛し、参加賞等を提供した。

今回はスポーツひのまる柔道大会 通算100回目ということで、この大会を経験したオリンピック選手なども講師として来場され、全柔道連会長の山下泰裕氏も観戦された。

(3) よこすかYYのりものフェスタ

6.3(土)は雨天中止となり6.4(日)に主会場はベルニー公園で開催された。(一社)横須賀市観光協会が主催する同イベントに協賛し、同イベントのチラシ持参者の大人一般料金を100円引きとした。(利用者約25名)

(4) 記念艦三笠でモールス体験

6.10(土)から6.18(日)の間、(一社)電波教育協会が主催するモールス体験、電波に関する展示を7,9番砲室で開催した。

(5) 回流水槽研究会

7.7(金)船舶工学および水産工学関係者により設立され流体力学全般を対象とする回流水槽研究会が主催する研究会を講堂で開催した。研究会に合わせ三笠研修を実施した。(参加者19名)

(6) 横須賀流灯会(灯籠流しの会)

7.16(日)横須賀流灯会が主催する行事に協賛し、お供物の受取(コンテナ設置)に協力し、更に5年ぶりに三笠艦上から約1000名の方が灯籠を見送られた。

(7) こすみゅミュージアム

7.22(土)株式会社C-MIXが主催し、横須賀市集客促進委員会が後援するコスプレイベントに協賛し、参加者の更衣室を提供するとともに、イベントの対象エリアの一部として撮影に協力した。(参加者約50名)

(8) 令和5年度横須賀夏期防衛講座

8.19(土)横須賀防衛協会等が主催する講演会「日本の安全保障と課題(台湾・日本有事に備え、戦争を抑止する)」(講師:岩田 清文 元陸上幕僚長)を講堂で開催した。(参加者約150名)

(9) 企画展「第2回日本のユーフォニアムとその歴史展」

9.16(土)から 9.24(日)の間、7、9 番砲室においてプロジェクト・ユーフォニウムが主催する企画展を開催した。展示された約 30 点の楽器の中には自衛隊の前身である保安隊が使用した楽器や、明治 2 年に鹿児島から横浜に来てわが国初のユーフォニアムの演奏指導を受けた尾崎平次郎氏に関する資料も展示された。

9.17(日)甲飛喇叭隊による演奏「ラッパで迎える軍隊生活の 1 日」を講堂で(参加者約 60 名)、「軍艦旗掲揚再現」を後部甲板で(見学約 50 名)実施した。

(10) よこすか海洋シンポジウム 2023(第 25 回)

9.23(土)よこすか市民会議が主催するテーマは「もっと知りたい横須賀の海」のシンポジウムを講堂で開催した。(参加者約 120 名)

(11) パークチャレンジ MIKASA

9.17(日)から 11.19(日)の間、横須賀市が三笠公園のリニューアルに当たり、公園活用の可能性を探るため民間業者等が提案するイベントに協力した。

10.7(土)は、ミツボシ 2023 サブカルイベント(コスプレ)に更衣室及び撮影場所を(参加者約 65 名)、10.28(土)はパルクール(都市型障害レース)大会に三笠のインターネット回線の提供を、11.12(日)はキッズフェスティバルのクイズラリーのポイントを提供するとともに講堂にて三笠紹介ビデオやフェスティバルに関連するビデオを上映した。(参加者約 900 名)

(12) よこすか開国花火大会 2023

10.15(日)よこすか開国花火大会に協賛し、上甲板での見学準備を行ったが、天候不良のため花火の打ち上げは中止となった。今年から三笠艦上をスポンサー席として使用しないこととなり、その分を往復はがきで 150 枚(300 席)を募集したところ 2,374 枚の申し込みがあった。

(13) 第 9 回 Yokosuka 海道ウォーク

10.14(土)同イベントに協賛し、協賛金を供出するとともにゴールでのイベント参加者に更衣室を提供した。

(14) 横須賀地元の元気応援券(プレミアム付商品券)

10.16(日)から 1.31(水)の間、横須賀市の企画に協賛し、参加店として応援券で観覧券を購入できるようにした。期間中 63 枚の利用があった。

(15) 横浜マリノスカラーのライトアップ

11.30(木)から 12.26(火)までの間、横須賀市をホームタウンとする横浜マリノスを応援するため、横須賀市の依頼に協力した。

(16) 旧軍港四市鎮守府日本遺産シンポジウム in 横須賀

12.3(日)旧軍港市日本遺産活用推進協議会が主催するシンポジウム等を開催した。講堂では、午前中は「日本遺産学術調査研究会事業」、午後は「日本遺産構成文化財の価値継承と活用」とのテーマで討議が行われ、会場には約 60 名がオンライン配信では 940 名の方が参加された。また、シンポジウム参加者等は士官室で海軍カレーを喫食された。

(17) メタバースヨコスカ三笠ロボット発表トークショー

2. 17(土)横須賀市観光課の企画によるメタバース関連の取組に協賛し、メタバースに搭載する三笠ロボットを製作した宮武一貴氏のトークイベントを講堂で開催した。(参加者約 90 人)

(18) 第 89 回海洋教育フォーラム

3. 10(日)公益社団法人日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会が主催する同フォーラム「海にみらいを求めてーみらいのエネルギーを一緒に考えてみませんか」を講堂で開催した。(参加者約 100 名)

(19) スプリングフェスタ

3. 23 (土) 同フェスタに協賛し、観覧料金(一般)を 100 円引きとした。昨年に引き続き 3 万 5 千人の応募枠での事前申込制となった。当日はあいにく降雨もあり米軍基地入場者は 2 万 3 千名(去年は 2 万 1 千名)であり、三笠の有料観覧者数は 950 名(同 860 名)となった。

5 広 報

(1) 委託ガイドによる定時艦内ガイドツアー

土日及び祝日に延べ 759 回 14, 339 名に実施した。

(2) SNS 広報

年間来艦者 15 万人達成 SNS 発信など、フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、トリップアドバイザーでの情報発信に努めており、各サイトでのフォロワー数も着実に増加している

(3) メールマガジン

三笠に対する関心を維持向上するため、役員及び会員等の希望者(約 350 名)に対し行事の予定、実施の状況等をお知らせするメールマガジンを四半期毎計 4 回(41-44 号)配信した。

(4) 会報「みかさ」

「みかさ」36 号を作成し、会員及び関係先に配布した。

(5) 看板等の設置

ア 三笠循環バス広告の掲載

イ ポスター類の掲示

ウ デジタルサイネージ(京急横須賀中央駅、横浜横須賀道路横須賀パーキング、東郷神社)

エ ポートマーケット

・ 館内大型スクリーンへの動画配信

・ 正面入口の市内観光案内看板への掲載

(6) インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業への参加

観光庁の補助事業で、横須賀市、横須賀市観光協会、(株)JTB 横須賀支店等とともに「夜の記念艦三笠で近現代の日本文化を体験！インバウンド向け特別限定コンテンツ創出事業」として、以下の事業を実施

ア 記念艦三笠の夜間、外国人限定のモニターツアー

- ・ 記念艦三笠の見学及び艦内での日本文化（着物着付け、呈茶、三味線演奏、横須賀野菜によるディナー）の旅行業者向け体験会（参加者25名）
- ・ インバウンドツアー（外国人10名）：呈茶、食事、三味線鑑賞、夜の三笠見学

イ 記念艦三笠スマホガイドの作成（多言語化）

(7) 新聞、広報誌等への広告

神奈川新聞（3回）、朝雲新聞、水交、東郷、タウンニュース（ローカル情報紙）、防衛協会会報（各2回）、世界の艦船、神奈川自衛隊音楽まつりパンフレット、「東郷平八郎記念日」リーフレット（鹿児島水交会）、第19回関東還暦・古希軟式野球大会プログラム、日本旅行「東京九州フェリーで行く横須賀・横浜・鎌倉」（各1回）に掲載した。

(8) 行事等の新聞等への掲載、放映、放送

読売新聞、神奈川新聞、タウンニュース、毎日新聞、日本テレビ、世界の艦船、神奈川県横須賀三浦地域県政総合センターHP、大東建託 横須賀かわら版夏号、トヨタモビリティ神奈川社内報などに日本海海戦記念式典や企画展の関連記事が掲載された。（16件）

(9) 報道機関等への協力

ア テレビ局等への撮影協力

- ・ 健康関連企業会報誌ほか「ふるさとめぐりたび」
- ・ 「西鋭夫と巡る日本の記憶」撮影協力
- ・ BS朝日「キンチョール創業者ゆかりの地関連」
- ・ フジテレビ「世界なんだコレ！？ミステリー」
- ・ かながわ信金地域紹介動画「かなしんデジタル観光サイト」三笠紹介
- ・ 市観光課メタバース関連事業
- ・ 神奈川県民ホール地域スポット紹介（You Tube）（三笠売店関係）
- ・ RKB 毎日放送「博多華丸の先生染まりんしゃたね。」
- ・ 県観光課観光ビデオ撮影
- ・ 北海道大学学生 福元氏 研究取材
- ・ NHK取材（メタバースヨコスカ）
- ・ NHK「歴史探偵 日露戦争」
- ・ 学生による SNS 発信のための日本遺産取材協力（市観光課主催）
- ・ 韓国テレビ番組(Naked World History)
- ・ BS11「中山秀征の楽しく1万歩！街道びより」

イ 雑誌等

- ・ 世界の艦船 8月号増刊「祝1000号！」記念艦「三笠」
- ・ 世界の艦船 9月号「ヴィクトリー」と「三笠」に見る艦船保存の課題

- (10) 横須賀海洋少年団の活動（陸上訓練等）に協力（１５回）
 (11) 横須賀市から行政視察等の要請をうけ案内等を実施（１２回 100 名）
 (12) 三笠ガイド協会 3 回、バス会社のガイド 2 回、JRC 特機の研修に協力
 (13) e チケットの販売

楽天トラベルに加え「じゃらん」による e チケットの取扱を開始した

- (14) その他

ア 横須賀市観光商談会（総務部長、広報課長）に参加した。

イ 6.24 から 9.11 の間、横須賀市や国交省の助成金を利用した横須賀市内発着の市内周遊ツアーを(株)はとバスが開催したが、特に平日は最少催行人員(20 名)を満たせず多々運休した。

ウ 横浜国大大学祭 協賛（三笠カレンダー 30 冊、缶バッジ 150 個、記念艦「三笠」パンフレット 200 枚）

エ 北鎌倉女子学園の学生が「観光甲子園 2023 空飛ぶクルマ部門」参加に当たり三笠の空撮写真を提供し、グランプリを受賞した。

6 観覧者

- (1) 観覧者数(無料観覧者を含む)は 192,086 人(前年度比 117.2%)であった。
 (2) 団体観覧者数は 28,308 名(前年度比 212.2%)であった。

順位	都府県	延人員(前年度比)	順位	都府県	延人員(前年度比)
1	東京①	12,444(195.1%)	6	群馬⑪	691(616.9%)
2	神奈川②	4,594(96.0%)	7	愛知⑨	464(252.1%)
3	静岡④	1,569(235.5%)	8	栃木⑧	461(240.1%)
4	千葉⑤	1,532(269.2%)	9	長野⑦	428(193.6%)
5	埼玉③	1,419(192.0%)	10	山梨⑩	417(251.2%)

※ ○内数字は昨年度の順位、－は昨年実績なし。

- (3) 観覧収入は 92,811 千円(前年度比 121%)となった。
 (4) 団体で来艦した学校数等

	小学校	中学校	高校	大学等	特殊学校	米軍	学校計	人数
5 年度	15	15	9	5	4	7	55	3,166
4 年度	22	7	11	8	2	3	53	3,270

- (5) 外国人の来艦者数は 6,293 名(前年度比 217.2%)となった。(コロナ禍前は約 5,500 名)
 (6) 主要来艦者

4 月	(研修) ケニア国防大学副長 ロバート・ンゲス (研修) 海上自衛隊護衛艦隊司令官 海将 福田 達也 (研修) 海上自衛隊護衛艦隊幕僚長 海将補 平田 利幸
7 月	(研修) 航空自衛隊中部高射群司令 富川輝 1 空佐 (研修) 米記念艦 空母レキシントン経営責任者 バンタ氏

8 月	(離任挨拶) 横須賀地方総監 海将 乾 悦久 (離任挨拶) 横須賀総監部幕僚長 海将補 小峰 雅登
10 月	(研修) トルコ海軍参謀本部戦略課長 海軍大佐 ビロル・シュトゥオール
11 月	(研修) 台湾海軍 軍官学校長、村川元海幕長 (研修) フランスブレスト市副市長 (研修) 全国市議会議長会 33 名、横須賀市議会 2 名
1 月	(研修) 海上自衛隊幹部学校長 海将 江川 宏 インド海軍大学校長 海軍少将 アルジュン・デブナーイル インド大使館国防武官 マジューシュ・マシュー海軍大佐等
2 月	(研修) 英国海軍兵力整備部長 海軍少将 リミントン、駐日英国国防武官 海軍大佐 ウイリアム (研修) 在日米四軍指揮官会議参加者 在日米軍司令官 空軍中将 リッキー・ラップ、在日米海兵隊司令官 海兵隊中将 ロジャー・ターナー、在日米海軍司令官 海軍少将 カール・ラティ、米海兵隊太平洋基地 (MCIPAC) 司令官 海兵隊少将 ステイブ・リズウスキー、在日米軍副司令官 海兵隊准将 ジョージ・ラウル、第 1 空軍副司令官ガールマン空軍准将、第 5 空軍副司令官フリーデル空軍准将、第 18 空団司令官エバンス空軍准将、第 3 海兵補給群司令官チョークリイ海兵隊准将、在日米陸軍副司令官ブッチャー陸軍大佐
3 月	(研修) 海上幕僚長 海将 酒井 良、総務部副部長 海将補 櫻井 真啓、チリ海軍司令官 スワン・アンドレス・デラマサ海軍大将、海軍兵学校長 ゴンサロ・タッペンデラカレラ海軍大佐、

(7) 防衛省職員の研修

自衛隊の 14 部隊等の隊員・職員(延べ約 1,471 名)が研修のため来艦した

(8) 外国軍人等の研修

- ・ 米空軍士官候補生 4 名 引率 1 名
- ・ 米海軍士官候補生 6 名 引率 1 名
- ・ 外国陸軍士官候補生 7 名 引率 1 名
- ・ 防衛大学(留学生) 学生 44 名 教官 12 名
- ・ 米海軍サイバーサイエンス学部 学生 14 名 引率 5 名
- ・ 海上自衛隊幹部学校 多国籍セミナー参加軍人 45 名 引率 2 名
- ・ 海上自衛隊幹部学校 「インド太平洋海軍大学セミナー」参加者 21 カ国大佐級 22 名 海上自衛隊 8 名
- ・ 防衛省 国連軍関係者 29 名 防衛省 6 名
- ・ 海上自衛隊 WPNS 上級海曹会議参加者 31 名 海上自衛隊 16 名
- ・ 海上自衛隊自艦隊司令部 国際交流ツアー外国士官 13 名 引率 2 名

・ 自衛隊統幕学校、国際平和協力センター講習参加外国士官等 29名

7 会 員

(1) 会員数

会員の種類		新入会員数		年度末会員数	
		5年度	4年度	5年度	4年度
個人会員	通常会員	49	57	609	637
	終身会員	56	57	2,321	2,364
	維持会員	11	15	220	211
	小 計	116	129	3,148	3,212
法人会員	通常会員	2	1	42	45
	終身会員	0	0	25	26
	維持会員	1	1	19	18
	小 計	3	2	86	89
合 計		119	131	3,234	3,301

(2) 月別会費収入

(単位:千円)

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年度	398	697	357	243	154	188	280	162	162	238	169	707	3,755
4年度	215	311	570	203	324	404	158	294	332	343	213	534	3,901

(3) 会員対策

ア 海上自衛隊2術校において上級管理講習参加者に対し、三笠保存会の概要説明と入会勧誘を3回実施した。

イ 海上自衛隊各総監部管理部長と基地業務隊司令に三笠保存会入会案内の書類を送付し退職隊員への入会勧誘を依頼した。

8 運 営

(1) 会 議

- 5.31(水)第45回 運営委員会
- 6.13(火)第24回 理事会
- 6.29(木)第24回 評議員会
- 同 臨時理事会
- 9.14(木)第46回 運営委員会
- 11.15(水)第47回 運営委員会
- 1.18(木)第48回 運営委員会
- 3.11(月)第25回 理事会
- 3.28(木)第25回 評議員会

(2) 理事等の交代

6.29(木)の評議員会で選任され、理事が就(退)任した。

退 任		新 任	
佃 和夫	三笠保存会会長	大宮 英明	三菱重工 相談役
中本 剛央	横須賀青年会議所前理事長	高橋 慶光	横須賀青年会議所理事長

6. 29(木)の臨時理事会で大宮理事が代表理事に選任された。

(3) 職員基本給表の改定

10. 1 神奈川県最低賃金が 1 時間 1, 112 円 (41 円の上昇) となったことにより三笠保存会給与支給規則別表「基本給表」の最低等級最低号俸額 (4 等級 1 号俸 : 162, 000 円) が最低賃金(時給)を下回るため、これを是正し 4 等級 1 号俸を 171, 000 円 (9, 000 円増額) とし、これに倣い各等級各号俸を 9, 000 円引き上げた。

(4) 職員人事

ア 職員の異動については次のとおり。

配 置	採 用(年月)	退 職(年月)
売店店長	郷原 健司(5. 4)	長岡 護(5. 4)
売店店員	服部 春代(6. 5)	竹本 幸枝(6. 3)
会計課長	守友 和之(5. 12)	谷口 義則 (6. 1)

イ 5 年度末における職員数は次のとおり。

正職員	再雇用職員	パート	計
6(1)	4	6(5)	16(6)

注 : () は女子職員を示し、内数である。

(5) 関係官公庁、友好団体行事への参加

定例の会合に出席した他、以下の行事に参加した。

- ・ 遠洋練習航海部隊壮行会 理事長
- ・ 遠洋練習航海部隊出国行事 理事長
- ・ 佃前会長への横須賀地方総監からの感謝状贈呈式 理事長
- ・ 「いかづち」帰国行事 理事長
- ・ 横須賀警察署武道大会 総務部長

(6) 職員の教育・研修

ア 職員研修会

生成 AI 及び動画作成ソフトによるプロモーション動画作成の勉強会を行った。

イ 自主防災訓練

地震発生時及び火災発生時の初動対処、観覧者避難誘導方法の演練及び非常用発電機の作動試験を行った。

9 売店部

(1) 営業収入

5 年度の営業収益は 47, 699 千円であり、前年度比 116. 9%となった。

(2) 通信販売の実績

三笠ホームページ・ショッピングサイトでの販売実績は、取扱件数(154件(前年度比85.1%)、販売金額605千円(前年度比81.0%、営業収益の1.3%)であった。

(3) 通信販売システムの更新

三笠保存会が独自に構築したシステムを運用していたが、不具合が発生した。復旧に要する時間や経費が新規システムの構築と同程度の見積となったことから、ネットショップ作成サービス「BASE」を利用して構築し、今回よりカード決済を導入した。

(4) 新商品

- ・海軍カレーラーメン
- ・海軍カレー焼きそば
- ・アクリルキーホルダー
- ・クリアファイル(新デザイン)
- ・Tシャツ(新デザイン)
- ・御船印
- ・ファスナーチャーム
- ・2024カレンダー
- ・横須賀海軍ラムネグミ
- ・よこすか海運ようかん
- ・記念艦「三笠」ボールペン
- ・海軍羊羹

(5) キャッシュレス実績

種 別	取扱件数(件)	販売金額(円)	対売上高	備 考
クレジットカード	2,636 (前年度比142.5%)	7,394,769 (前年度比143.4%)	17.9%	NICOS、JCB等
交通系ICカード	1,853 (前年度比114.5%)	1,646,573 (前年度比94.5%)	4.0%	スイカ、パスモ等 6年1月末取扱終了
QR決済	3,243 (前年度比126.7%)	4,092,265 (前年度比131.7%)	9.9%	ペイペイ
合 計	7,732 (前年度比%)	13,133,607 (前年度比131.3%)	31.8%	

(6) 棚 卸

4半期毎に棚卸しを実施し、適切に処理されていることを確認した。

(7) その他

- ・メダル刻印機補修(補償修理)
- ・レジスター、クレジット端末更新

10 感染症防止対策

5月8日新型コロナの感染法上の位置付けが5類感染症(個人の選択が尊重さ

れ、自主的な取組みをベースとしたもの)に変更された。このため三笠の新型コロナ感染症拡大防止対策ガイドラインは廃止し、感染症防止のために次の対策を実施している。

- (1) 基本的な対策として手指消毒、換気、密の防止の啓発を継続している。
- (2) マスクの着用は個人の判断（職員等についても自己対応）
- (3) 8月にエーザイ㈱から次の抗菌作用のあるサンプル品の提供を受け活用した。
 - ・ ウェットティッシュ（10枚入：48,000個）：来艦者に配布（約2か月間）
 - ・ ウェットティッシュ（60枚入：1,680個）：VRにおける抗菌（約6か月間）
 - ・ 抗菌化スプレー（120本）：艦内手摺り等の抗菌（約6か月間）